



町民一丸となって住みたくなるまちを創る

筑波銀行龍ヶ崎支店長
菊池 聡

利根町長
佐々木 喜章 氏

利根町教育委員会 教育長
海老澤 勤 氏

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとのつながりを深めるべく取り組んでいます。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県北相馬郡利根町です。筑波銀行龍ヶ崎支店長 菊池 聡が利根町長 佐々木 喜章氏にお話を伺いました。

町政運営の5つの柱

私は、「まちづくり」の基本姿勢として、「災害に強く人にやさしいまち」、「健康で元気あふれるまち」、「子育てと教育のまち」、「活力あるみんなが集まるまち」、「町民が主役のまち」の5つの柱を掲げています。

これまで、牛久市との大規模水害時における広域避難に関する覚書の締結による災害時の避難先の拡充、中学生を対象とした英語検定料の助成、利根町ふれ愛タクシーの運行エリアをJA取手総合医療センターまで拡大、子育て世代の住宅取得支援などの施策を展開してきました。

今年度は、4月から一小一中体制となった学校教育を強みとしてとらえ、本町ならではの学校づくりを推進するためにコミュニティ・スクール立ち上げの準備を進めます。統合後の学校跡地の利活用は、住民説明会とパブリックコメントを経て、旧文ふみ小学校は主に町内外から人が集まる複合施設として、旧文間もんま小学校は主に総合教育センターとして利活用する方針が決定し、2025年度から新たな施設として利用できるよう整備を進めています。また、防災アドバイザーを活用した職員の防

災意識改革を進めます。

2023年4月1日には、町民が主役となる協働のまちづくりを推進するための「利根町みんなのまち基本条例」を制定し、従来の取り組みの見直しも行っています。また、まちづくりや地域の活性化に興味や関心のある人たちが主体的に活動している「とねまち未来ラボ」では、まちの魅力やおすすめスポットが掲載された「…とねっ？…とねっ！めぐるmap」を作成し、とても好評を得ています。

これまで積み上げてきた取り組みや成果を確かなものとしながら、時代に即した新たな施策も取り入れ、住民と行政とが協力して魅力ある町を創り上げ、まちづくりの将来像である「ともに創ろう みんなが住みたくなるまち とね」の実現に向け各種施策に取り組めます。

防災事業

「災害に強く人にやさしいまち」実現のために、株式会社危機管理教育研究所代表の国崎伸江氏を防災アドバイザーとして招き、本町職員に防災意識度調査を実施して防災意識の現状を把握し、役

職別に研修を実施する計画です。研修では、災害対応における各課の役割など地域防災計画に基づく踏み込んだ内容を盛り込み、防災意識向上を図ります。

本町では、幸いにも東日本大震災以降、大きな被害はありません。しかし、利根川と小貝川に面していることから水害の可能性も含め大規模災害はいつ発生してもおかしくないと考えられます。また、災害時は全職員が参集できるとは限りません。そのため、いざという時に備えて各部署が災害対応について考え、各職員が自らの役割をあらかじめ把握しておき、災害時には各職員が自発的に行動できるような災害対応力の向上を図ります。11月には、水害に関する防災訓練を防災アドバイザーとともに実施し、助言を得ることを予定しています。

まちなか・商店街活性化事業

現在、町内に増加している空き店舗の利活用と、地域や商店街に人の流れを創り活性化を図ることを目的に「まちなか・商店街活性化事業」を進めています。この事業は総務省の地域力創造アドバイザー招へい制度を活用し、「まちとひと感動のデザイン研究所」代表の藤田とし子氏とアドバイザー契約を結び、指導を受けながら進めています。ここから、「とねまち起業塾」や「とねまち未来ラボ」、「めぐるmap」、「チャレンジショップ」などの取り組みが生まれました。

とねまち0→1BASE

本町では、長年にわたって地域商業を支えてきた個人商店が大型スーパーの出店や店主の高齢化などを理由に閉店・廃業し、そのまま放置された「空き店舗」が年々増加しています。これらを利活用し、また新たな地域商業の担い手となる起業家を呼び込むため、創業支援の拠点となる、インキュベーション施設「とねまち0→1BASE（ゼロワンベース）」を整備しました。

ゼロワンベースの1階はチャレンジショップで、本町での起業・創業を目指す方へ一定期間安価で貸し出し、「お試し出店」してもらっています。

6月1日に、チャレンジショップ第2号店舗となる「ママとこcafe」がオープンし、町内外から小さな子ども連れのお客様が多数来店しています。ママとこカフェのオーナーは2人の子どもを育てる母親で、子育てをする中で「子ども連れでも安心して食事ができる場所が必要」と感じてい

たところ、このチャレンジショップのことで知り、子育て世代をターゲットにしたカフェの出店を決意しました。今後、本町では、出店後の課題や悩みを専門家に相談できる機会を設けるなど伴走支援を行い、さらに、チャレンジショップ卒業後に町内で本格的に開業する際は、空き店舗バンク制度や開業時の費用や家賃を一部補助する補助金制度などによって包括的に支援していきます。

とねまち起業塾

2021年度より、起業・創業の専門家を講師に迎えて1プログラム全6回の「とねまち起業塾」を開催しています。2021年度に第1期生6名、2022年度に第2期生6名の計12名が卒業しました。今年1月には、第1期の卒業生が町内の空き店舗を利用してシュウマイのテイクアウト店を開業しました。

とねまち未来ラボ

「とねまち未来ラボ」は、藤田氏から「単に空き店舗を埋めるだけではなく、本町が若者や起業家にとって『訪れたい町』、『お店を出したいと思える町』になる仕掛けが必要」とアドバイスを受け、若者会議として発足したグループです。「ともに考え、ともに学び、ともに活動する」をテーマに、定期的集まり、本町の「強みや弱み」、「10年後、20年後、どうなっていたいか」などを話し合っています。メンバーは町内在住在勤または本町に関心を持つ人たちで、職業は多岐にわたり、年齢は20代から40代が中心です。この活動には、とねまち起業塾の卒業生も参加しています。

「…とねっ?…とねっ!めぐるmap」は、本町の情報発信力の弱さを感じた未来ラボのメンバーが企画・作成した、本町の魅力を広く発信するマップです。今年5月に完成披露記者会見も実施し、茨城新聞、読売新聞、毎日新聞、J:COM、NHKなど各メディアで取り上げられ、町外からも多数の問い合わせがありました。今後の未来ラボの活動としては、めぐるmapを活用したまち歩きツアーや一箱古本市、写真展などを計画しています。



コミュニティ・スクール

学校教育においては、2023年度からはじまった一小一中というコンパクトな環境を強みとして、町民一丸となって子どもたちを支える体制づくりを目指します。

本町では、これまでも保護者や地域の皆様の協力のもと、児童生徒の安全管理や学校環境の整備、様々な学習活動などを通して、地域に根付いた学校づくりを進めてきました。この地域と学校の良好な関係を継続し、さらに一小一中という強みを活かすため、2024年4月から利根町立利根小学校及び利根中学校を一つのコミュニティ・スクールとし、地域の皆様とともに学校づくりを進めるための協議組織である学校運営協議会を一つ設立する予定です。小中学校を統括する協議会とすることで、小中一貫の質の高い学校教育を提供するための協議が行えるようにします。

なお、利根小学校と利根中学校とは約3km離れています。すでに相互にオンラインで結んだ交流などが実施されていて一体で活動する素地はできており、コミュニティ・スクールとしての運営に問題はないと考えています。

今年度は、学校長経験者をコミュニティ・スクール指導員として任用し、この協議会の規則等の整備、各種広報活動、準備委員会の組織づくりなどを実施します。さらに、協議会委員の公募、コミュニティ・スクールを支える地域人材のデータバンク化、学校サポート活動の計画づくりなどの準備を進めます。

学校の跡地利用

本町は2008年度に小学校5校を3校に統合し、さらに、2023年度から1校に統合しました。そのうちの旧東文間小学校の跡地は廃校となった後、現在も具体的な利活用案がない状況です。

2023年4月に廃校となった旧文小学校および旧文間小学校ではその轍を踏まないよう、統合が決定した2021年7月に利根町学校跡地利活用検討委員会を立ち上げて利活用について検討を進めてきました。

その甲斐あって、旧文間小学校は総合教育センターを中核とした教育・学習支援施設として、旧文小学校は町民のための健康増進施設や子育て世帯の支援・交流の施設、町内外から人が集まる施設の機能を持つ複合施設として活用する方針が決まっています。

学校跡地の活用とeスポーツの推進

旧文小学校で予定している「町内外から人が集まる施設」では、eスポーツを通じたコミュニティの形成を想定した活用も検討しています。若い世代の集客、地域や年齢を超えた交流等、様々な効果が見込まれ、地域の活性化や本町のイメージアップが期待されます。

eスポーツ導入検討のきっかけは町の若手職員からの提案です。本町では、入庁3年目まで（コロナ禍以降は5年目まで）の若手職員が、まちづくりのアイデアを1年かけて研究しており、優れたアイデアは実際に施策として実行しています。先進好事例等を積極的に視察することも推奨しており、若手職員とともに、私もNTTe-City Laboを視察し、eスポーツで地域に新しい賑わいを生み出す可能性を体験しました。

さらに、茨城県も「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会」を設置し、県、企業、学校、市町村等が連携、協力してeスポーツの振興と産業化に取り組んでいます。本町もこの協議会に2022年11月に入会し、eスポーツ事業に係る情報収集や機器のレンタルのサポートを受けられる体制を構築しました。

今年度は、町民へ「eスポーツ推進基礎調査」アンケートや、関係団体へのヒアリング、先進事例の調査を実施し、当町におけるeスポーツに係るニーズや課題の分析を行い、具体的な施策を前向きに検討していきます。

筑波銀行に期待すること

本町は、自治本来の姿に立ち返った町民主役のまちづくりを進めるため、自治基本条例「利根町みんなのまち基本条例」を施行しました。また、2023～2024年度の2年間をかけて、総合振興計画後期基本計画とまち・ひと・しごと総合戦略を一体とした計画および地域公共交通計画を策定します。地域公共交通計画は、持続可能な公共交通体系構築に向け、県や流通経済大学と連携し、公募した町民も交えて審議していきます。今後も、まちの活性化、魅力度・認知度向上に向けた取り組みを実施し、なお一層の子育て世代の移住・定住に取り組んでいきます。

筑波銀行には、本町の施策に合致した住宅ローンなどの金融商品の提案や制度の周知、イベントの後援など本町の取り組みへの積極的な協力を期待しています。

(取材日：2023年6月27日)



わがまちの創業支援

—利根町—

このコーナーでは、「支店長のわがまち紹介」で取材させていただいた市町村の施策や事業、取り組みなどを紹介しています。

利根町では、地域商業の担い手となる若い起業家の発掘と育成を目的に、さまざまな創業支援を推進しています。その中から、利根町が運営するインキュベーション施設「とねまち0→1BASE」内のチャレンジショップの第2号店舗「ママとこcafe」と、「まちなか・商店街活性化」に関する取り組みをご紹介します。

ママとこcafe

今年6月1日、利根町チャレンジショップに第2号店舗としてオープンした「ママとこcafe」は、「小さな子ども連れでもくつろげるカフェ」をコンセプトにしたお店です。

オーナーの黒澤七緒さんは、元看護師で2人の子どもの子育て真っ最中のママ。自分の経験から、「育児をしながら家にも外にも心が休まる場所がなかった。同じ思いをしているママたちが来てくれるようなお店を作りたい。」との思いから、利根町チャレンジショップへの出店を決意しました。

木をふんだんに使った店の内装や装飾品は、パパがコツコツとDIYで制作したもの。こうしたオープンまでのプロセスを逐一SNSで発信していたこともあり、オープン初日から、噂を聞きつけた小さな子ども連れのママたちが、町内外から訪れています。

【住所】茨城県北相馬郡利根町布川 2115-105
利根ニュータウン商店会内
とねまち0→1BASE 1階

【営業日時】月・火・金・土 10:00～14:00

Menu

- ランチメニュー（ドリンク、ミニデザート付）
 - ・野菜たっぷりランチプレート 1,300円
 - ・オリジナルスパイスカレー 1,300円
- キッズメニュー（ドリンク、ミニデザート付）
 - ・国産小麦のうどん 400円
 - ・国産小麦のパンケーキ 400円
 - ・味噌焼きおにぎりプレート 400円
 - ・お子さまスパイスカレー 400円
- ドリンク、デザートもご用意しています

Instagram

●@mamatoko_cafe



外観



作業中のオーナー黒澤七緒さん



子ども連れでくつろげます

とねまち起業塾

町内で起業・創業を目指す人が対象の「とねまち起業塾」を、全6回のプログラムで開催し、2021年度は1期生6名、2022年度は2期生6名が卒業しました。第1期卒業生の中には、町内の空き店舗を利用して2023年1月に「手作り点心の店Syun358.」をオープンした人もいます。

空き店舗バンク

町内に増加している空き店舗の利活用を促進するため、空き店舗所有者と空き店舗を利用して商売を始めたい方とのマッチングを行う「空き店舗バンク制度」を創設しました。起業塾やチャレンジショップ卒業生の受け皿としても活用できるよう登録物件の増加を目指しています。

とねまち未来ラボ

まちづくりに興味関心がある若者たちが集まって発足した若者会議「とねまち未来ラボ」は、定期的にセミナーやワークショップを開催しています。とねまち0→1BASE改修工事ではメンバーが解体や壁塗りなどを実施。若者目線で楽しく町の魅力を紹介する「…とねっ？…とねっ！め〜ぐるmap」はメディアにも紹介され大好評です。（P.9に一部分掲載）今年10月には、「一箱古本市」の開催を予定しています。